

時事
短評

小選挙区制は悪か?!

先日読売新聞で「選挙制度・視点」という連載記事が出ていました。1票の価値を均等にすることに目が行きすぎると、政治的混乱を招く恐れがある、との主旨でした。表面的な理想主義に走らず、良く書いてくれたなという印象を持ちました。

選挙制度の話になるといつも大学1年生の時の講義を思い出します。英書講読の時間でした。「最適な選挙制度は何か?」と先生が尋ねます。「もっとも国民の声が反映できる制度です!」とある生徒が答えました。「具体的には?」、「比例代表制でしょうか?」。その後聞いた先生の言葉が忘れられません。「比例代表は小党乱立になり、誰が政権を担うのかわからなくなる」というのです。読売新聞の記事でも、ベルギーやイスラエル、ギリシャの例があがっていました。比例代表による選挙結果はドングリの背比べになり、どの党とどの党が連立を組むかわからず、結局各党の公約も連立のための政策協定が優先し、うやむやになってしまうのです。

イデオロギー対立がなくなって、政党間の違いが曖昧になっています。小選挙区制度は、死票は多いですが、多数派を作ることで責任の所在を明確にし、安定した政権運営を可能にするのです。決められない政治を避けたいのであれば、小選挙区制は有益な制度であると考えられるのです。

新しくも
懐かしい

きざ 日本の兆し

職住近接の豊かさ

私が所属している熊谷青年会議所では、現役会員、OB含めて年に数回ゴルフコンペを行っております。私も役員になってから、恥を忍んで参加しております。上手な人のボーリングのようなスコアを出すにもかかわらず…。私は下手ですから特に強く思いませんが、これほど近くにゴルフ場があって、好きな方は最高だろうな、と思います。高校生の時にオーストラリアに旅行した際に、添乗員さんが「仕事が終わってからゴルフ場に行くのですよ」と豊かな生活環境を説明してくれましたが、そのことを思い出します。豊かさは意外と身近なところにあります。



地域でがんばる人をご紹介!! 地元のがんばりリスト

Gambarist



株取引からサツマイモへ! 坂井孝行さん(熊谷市)



今回は、熊谷市樋春にあるTATA GREEN株式会社代表取締役、坂井孝行さんを訪ねました!さつまいもの専業で、来年にはさつまいもの作付けで埼玉県一の規模になる予定だそうです。

法人の設立は2012年8月。社名はTrue Agri is Try and Activityの頭文字に由来するとのこと。農業を始める前は証券会社に勤務しておられましたが、「いつか日本が食べることに困る時代が来るのでは…」という疑念を持ち、一念発起。半年間の兼業期間を経て、独立したそうです。

現在は約2町5反、来年は4~5町の作付けを行う予定です。さつまいもは、JAの直売所に出荷したり、焼き芋や干し芋として自ら運営する店舗で直売したり。生産から消費者の方への販売まで全てを担え、感動を与えられる職業だ、と力説されています。これからの農業の一つのモデルになるだろうと思います。ご活躍を期待します!



活動報告



INFORMATION

■明るい日本を創る座談会

【妻沼北武蔵地区】6月27日(木) 午前10:00~
北武蔵コミュニティセンター
熊谷市上江袋1064-14

■街頭演説

6月29日(土)
午後2:00~熊谷駅北口
2:30~八木橋東口前
3:10~埼玉りそな銀行行田支店前
3:45~梅林堂羽生店前
4:15~「加須市役所入口」交差点

■後援会総会・懇親会

6月22日(土)午後2:00~
さくらめいと「月のホール」にて 会費3,000円
どなたでもご参加ください!お申し込みは事務所まで
ご一報ください。